

●● 病院長 挨拶



このたび、皆様に親しまれてきた「豊中緑ヶ丘病院」は、「社会医療法人彩樹 豊中敬仁会病院」に病院名称を変更することになりました。当院は60床と小規模の病院です。多くの領域において高いレベルの医療を皆様に提供することは困難と考えます。そこで、専門領域を明確にして、その領域においては高いレベルの医療を提供するのが地域医療に貢献する最良の方法と考えました。

具体的には、消化器領域の診断治療すなわち内視鏡検査・内視鏡治療・手術療法・癌化学療法と、腎不全治療すなわちシャント造設術を含めた血液透析治療を柱とした病院づくりを目指していきたくと考えています。地域の皆様にご支援いただき「安心して頼りにしていただける病院」に生まれ変わっていく所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。胃癌・大腸癌の手術治療は、早期に発見して低侵襲的に切除するのが患者様にとって一番安心・安全な治療になります。当院は、大阪大学消化器外科および大阪医科大学一般消化器外科、消化器内科の関連施設です。早期癌（粘膜癌）に対しては内視鏡的切除を、進行癌・SM浸潤癌に対しては腹腔鏡下手術を多数行ってまいりました。そして本年度中には内視鏡手術支援ロボットを導入し、ロボット内視鏡治療センターを立ち上げる予定です。内視鏡的切除術もエキスパート医師に来ていただき、多くの患者様に安全な負担の少ない治療を提供できると考えております。そのためには、内視鏡検査を積極的に受けて頂くことが大切です。どうか、怖がらずに内視鏡検査を受けてください。

これからもより一層地域医療に貢献できるよう、地域の皆様に愛される病院を目指して精進する所存でございますので、新生「豊中敬仁会病院」をよろしくお願い申し上げます。

●● 部署紹介

4 階病棟



看護師
病長 姫路 麻容子

4階病棟は消化器内科、外科、整形外科の患者さんを中心とした急性期一般病棟です。患者さん一人一人に最善の医療を提供できることを目指し医師、看護師、薬剤師、理学療法士などが連携し、チーム医療を行なっています。看護にあたり患者さんとそのご家族の思いや価値観を大切にし温かみのある看護ケアに努めています。

また、安心して手術や治療を受けられ、1日も早く退院できるよう支援させて頂いています。今後もチーム力を発揮し患者さん、地域の皆様のお役に立てよう頑張りますので宜しくお願い致します。

医師紹介



内科
本田 由美子

*一言

豊中敬仁会病院に就職してから25年目になりました。去年の夏から事情があり外来診察のみさせて頂く様になりましたが、今も新しく学ぶ事に尽きることがありません。今後も知識が古くならないよう日々努力していきたいと思います。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

*医師になっていなかったら

マンガ大好き少女だったので、マンガ家さんにあこがれていたなー。
なろうと思っても無理ですが。

*マイブーム

家の片付け。労力のわりには見た目全然変わっていないのですが、でもいいんです！



病理
前田 環

*一言

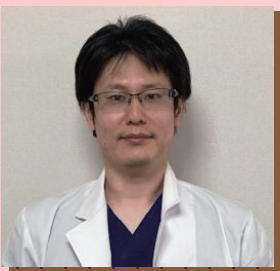
漫画「フラジャイル病理医 岸京一郎の所見」のおかげで、少し知名度が上がった病理診断ですが、岸先生のようなパーフェクトな診断は出来ません。依頼医とのコミュニケーションで補充しています。

*医師になっていなかったら

畑で芋や大豆や野菜を育てる農業従事者。

*私のオススメはこれ

Disney+（ディズニープラス）で配信中「マンダロリアン」、特にスターウォーズ旧三部作ファンの方には必見です。



内科
北原 知洋

*一言

4月より豊中敬仁会病院で勤務することになりました北原 知洋と申します。よろしくお願いいたします。

*マイブーム

阪神タイガースが好きで、よくテレビ観戦をしています。

*今、夢中になっていること

太りはじめたので、週に1度ジョギングをしています。

部署紹介

内視鏡センター



看護師
副主任 寺田 麗美

現在、看護師4名・臨床工学技師2名・事務員2名のスタッフで内視鏡業務を担っております。患者様が少しでも苦痛無く内視鏡が受けられるよう支援させていただきます。また、新型コロナウイルス感染症・他感染症対策も行い、安心して検査が受けられるように努めております。

この機会に是非内視鏡検査を受けていただきたいと思います。よろしくお願いします。

● ヘリコバクター・ピロリ菌について 消化器内科：寺島 禎彦

ヘリコバクター・ピロリ菌は1979年にオーストラリアの病理医Robin Warren博士とBarry Marshall博士により胃炎患者の粘膜に発見されました。

Marshallはピロリ菌の分離培養にも成功し、培養液を飲み込むことで急性胃炎をきたすことを自らの人体実験で証明しております。それまで強酸環境である胃内は無菌と考えられておりましたが、ピロリ菌はアンモニアを分泌し、周囲の胃酸を中和して生育していたのです。ピロリ感染が胃炎の原因であったことは画期的な発見であり、その後胃十二指腸潰瘍の原因とも判明しました。

日本においては減少傾向にあるものの、現在でも約3600万人程度が感染していると予想されております。高齢になるほど感染率は高く、50歳代で40%、60歳以上では半数近くが感染しております。日本の観察研究で、10年間の観察でピロリ感染者の2.9%に発癌がみられており、ピロリ菌を持たない方の約5倍、慢性胃炎が進むと最大で約10倍までの発癌リスクがあると言われます。もちろん、ピロリ感染のみで胃癌が発生するわけではなく、喫煙や高塩分食、野菜不足などの様々なリスクが重なり胃癌が発生すると考えられておりますが、1994年にWHOにより、確実な発癌因子と証明されております。2013年より慢性胃炎(H.pylori感染胃炎)に対して除菌治療が適応になりました。除菌治療で胃癌リスクを半分に下げることができるといわれております。

除菌治療は抗生剤と制酸剤の合剤を一週間内服するものです。1回の除菌療法で8割が除菌可能です。副作用は10%に軟便・下痢、5%に味覚異常、数%に皮疹がある程度で安全な治療法です。

ピロリ感染や胃炎の有無を胃の調子の悪い方、貧血がある方、若いときに胃潰瘍や十二指腸潰瘍のある方は一度胃カメラを受けてみましょう。胃炎の有無やピロリ菌の感染を確認して、必要があれば保険で除菌治療を受けることができます。

当院ではネット予約も可能です。コロナ禍ではありますが、ガウン着用や前後のアルコール消毒も徹底し感染予防に努めております。



● 当院栄養士からのおススメ旬のお料理 管理栄養士：中村 美佳

さわらの菜の花あんかけ

栄養価（1人当たり）
エネルギー 283kcal
たんぱく質 17.4g
塩分 2.4g

〈材料〉2人前

さわら 2切れ
酒 大さじ1
塩こしょう 少々
片栗粉 適量
油 大さじ1

【菜の花あんかけ】

菜の花 1/2束
人参 1/3本
だし汁 200cc
A 薄口しょうゆ 大さじ1
A みりん 大さじ1
A 砂糖 小さじ1/2
A 塩 小さじ1/4
片栗粉 適量

☆おすすめアレンジ☆

菜の花あんかけに、柚子胡椒
小さじ1/2（2cmほど）を
加えると爽やかな風味に！

春のお魚さわらは
良質なたんぱく質で、
血液の流れを良くする
DHA・EPAが豊富に
含まれています！



【作り方】

1. さわらに酒をふりかけ、15分ほど置いておく。
2. 菜の花は硬めに茹でて、水に取り、水気を絞って1cm幅に切る。
人参は千切りにする。
3. 鍋にだし汁、人参を入れ、柔らかくなるまで炊く。
柔らかくなったら、Aの調味料、菜の花を加え一煮立ちさせる。
4. 水溶き片栗粉で好みのかたさにとろみを付ける。
5. さわらの水気をキッチンペーパーで拭き取り、塩こしょうをまんべんなくふり、片栗粉をまぶしてフライパンで焼く。
6. 焼いたさわらに菜の花あんかけをかけて完成！！

連携医紹介



江本医院
院長 江本 敬



TEL:06-6852-3098
<http://emoto-medical-clinic.jp/index.html>

昭和58年から柴原町で胃腸科・内科・外科を開業しております。地域の皆様の「かかりつけ医」として、在宅医療を含めて各種疾患の診療に当たるとともに、あらゆるご相談を受けて、必要があればしるべき医療機関にご紹介をしております。今の趣味は60年続けて来たテニスでして、聖地ウインブルドンセンターコートにも行ってきました。また医師の大会では、何度か全日本のタイトルを獲っているのが、テニス人生唯一の自慢です。いい年齢になってきましたが、地域の皆様のお役にたてる限りは、天職と思って働き続けますので宜しくお願い致します。



大瀬戸内科
院長 大瀬戸 奨（おおせと すすむ）

TEL:06-6840-0088
<https://www.oseto-naika.com/>

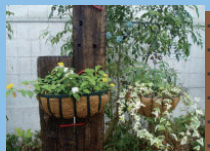


2011年開業以来、特に高血圧症・糖尿病等に伴う心臓や脳などの病気を中心に、その他消化器や呼吸器など一般の内科疾患診療をしております。病気の性質上、ご高齢の患者様も多く、通院出来なくなった後も訪問や往診を継続して、最後の最後まで関係を継続できるようにとの思いで診療をしております。豊中緑ヶ丘病院に通院されておられる皆様も、困ったときには病院で診てもらい、普段はかかりつけ医に気軽に診てもらいたいとか、そろそろ通院が大変になってきた、などありましたら、大瀬戸内科に一度お越し下さい。



加治内科クリニック
院長 加治 到

TEL:06-6840-3952
<https://www.kaji-clinic.com/index.html>



加地内科クリニックは2015年に開院いたしました。院長は消化器内科専門医として大阪府立成人病センター（現 大阪国際がんセンター）などの病院で勤務した後、上野東の地に開業しました。クリニックでは、内視鏡や超音波検査など、専門的な検査・治療とともに、漢方治療などもおこなっております。お花を植えたり、絵を飾ったり、できるだけ落ち着いた空間になるように心がけております。ひきつづき、豊中緑ヶ丘病院をはじめ、地域の医療機関との連携を大切にして、診療してまいります。今後とも、よろしくお願い申し上げます。



菱谷医院
院長 菱谷 好高

TEL:06-6853-0551
<http://www.zephyr.dti.ne.jp/~hisitani/>



豊中市上野坂で、内科、リウマチ膠原病内科、循環器内科で開業しています。菱谷です。開業して30年になりますが、緑ヶ丘病院には開業時から大変お世話になっています。私は大学病院勤務時代より、リウマチ、抗原病、肝臓などの免疫異常が原因の病気の研究と診療を続けてきました。そのため、これ等の疾患および内科一般の診断治療に関しましては、十分な実績、経験を持っていると自負していますが、消化管内視鏡検査はまったくできません。現在、当院で内視鏡検査が必要な時は緑ヶ丘病院のお願いすることが多いです。そして、いつもの確なお返事をいただきますので、内視鏡検査ができない当院にとっては非常に助かっています。また腎臓病に関しまして専門医がおられ、慢性腎不全、腎透析にも適切に対応していただけるのでこれも助かっています。このように緑ヶ丘病院は当院では対応できない検査、治療、入院加療に対応していただいております。当院とは病診連携が非常にうまくとれていると思っています。これからもよろしくお願い致します。



松永外科内科
院長 松永 高晴 TEL:06-6855-5551



当院は平成2年7月（1990年）に春日町2丁目で開院し、2010年に当地（永楽荘1丁目）に転院し、現在に至っています。標榜科目は多岐に渡っていますが（外科、内科、整形外科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科）メインは外科（院長）、内科（家内と息子の嫁が午前中のみ交代で診療）、整形外科（手の外科の専門医の森友先生が週1回診察）です。他院に診療依頼する事が多々あり、市立豊中病院と緑ヶ丘病院への紹介患者数は、当院が一番多いと思います。個人的には多趣味で、ゴルフ、釣り、ガーデニングを主にしています。年齢的にも息子への代替わりの時期にきていますが、引退してもする事がないので、もう少し働く予定です。今後とも宜しくお願い致します。